

平成 28-29 年度大型シミュレーション研究

応募書類 記入上の注意事項

1. 申請書について

1. 昨年と申請書の様式が変わっているので注意して下さい。
2. 申請書の Word ファイルをダウンロードし、記入の上メールにて申請して下さい。
3. 研究課題名および研究目的の概要は、簡潔にお願いします。
4. 課題グループ名は先頭に sc を含む英字で 8 文字までとなります。継続申請の場合は同じグループ名を使用して下さい。
5. 公募要項の(1)に該当する研究課題については共同研究として、公募要項(2)に該当する研究課題については共同利用研究として扱われます。
6. 本申請・トライアル申請のどちらかを囲んで下さい。
7. 2 ページ目に、研究組織を記入して下さい。研究責任者及び共同研究者について、氏名、ふりがな、所属機関、部局、職名、電子メールアドレスに加えて、各人の研究分担が具体的に分かるように明確に記入して下さい。尚、外国為替及び外国貿易法の非居住者（外国の機関に所属する研究者など）は、審査が必要ですので、履歴書（様式自由）を提出してください。
8. 3 ページ目に、他の「大型シミュレーション研究」への申請状況を記入してください。研究組織に参加する研究責任者あるいは共同研究者は、他に申請を行う研究課題（責任者・共同研究者）を記入し、それぞれの研究課題での研究分担との役割の違い等を記入して下さい。エフォートは大型シミュレーション研究でのエフォートを記載してください。個々の研究課題についての和が最大100%のエフォートとなるようにして下さい。欄が足りない場合は追加して下さい。
9. 他機関のスパコン計算資源への申請（採択及び申請中のもの）で、本申請と同じ研究テーマに係わるものについては、当該申請の責任者、利用申請資源（時間×ノード数）、ノードあたりの性能を記入してください。HPCI など複数の枠組みで利用可能なシステムについては、その事業名を記入してください。京都大学基礎物理学研究所、大阪大学各物理研究センター（RCNP）など、ユーザ単位で利用するシステムの場合は、事業名にユーザ単位での利用と記入し、本申請と同じ研究内容に利用する計算資源を概算で記入して下さい。欄が足りない場合は追加して下さい。
10. 継続申請の場合で、平成 26-27 年度成果報告書提出後に公表論文がある場合は、KEK 研究成果管理システム上での登録番号を記入して下さい。「本登録済み」の状態になっているものに限りません。成果管理システムへの入力は随時可能です。
11. 申請時間は、それぞれのノード用のジョブ毎に、計算時間（1 ノードあたりの計算時間に換算しないこと）の計を記入してください。トライアル申請の場合、システム A の 1 ノードジョブ

1000 時間、4 ノードジョブ 100 時間、システム B の 32 ノード及び 128 ノードそれぞれについて 500 時間、512 ノードジョブ 50 時間を上限とします。ディスク容量については、3TB 以上を必要とする場合には、現在使用中の容量を含めて記入してください。大型シミュレーション研究審査委員会の審査により利用可能な容量が決定されます。また採択後、別途実施計画書が必要です。

12. 申請時間内訳には、研究計画における各サブテーマに対し、ジョブクラス毎の研究内容の概要と応募時間を記載してください。複数ノードの場合でも経過時間を単位とします。欄が足りない場合は追加して下さい。

2. 実施計画書について

トライアル申請の場合、実施計画書は不要です。

特に様式は問いませんが、A4 判縦向き用紙に横書きの形式で、PDF, PostScript, DOC(Word 形式)のいずれかのフォーマットで作成してください。

次の事項を御記入願います。

1. 研究課題の内容
 - 研究の物理的意義、予想される研究成果等
 - 大型シミュレーション研究としての特徴、その必要性等
 - 当該研究課題に関する国内外の研究状況等
2. 研究課題についてのこれまでの研究の経緯
3. 計算方法の概略
4. 計算実行の具体的計画
 - 現在の数値計算準備状況(コードの開発状況、実行性能など)
 - 研究計画の中でいくつかのサブテーマがある場合は、それぞれの計画と研究全体の中での役割
 - 申請グループが他の国内外の機関との共同研究の中で実施する場合には、その共同研究全体の中での、当該申請グループの果たす役割と、本機構の大型シミュレーション研究の枠内で行う計算の位置付けを明確にしてください。